

FOCUS

By APU-ers, for APU-ers

2015 秋 第1号
by ALRCS

総合情報センター長に

FOCUS!

教授から学ぼう!

Pg 1

先輩からAPU生へ

APUを羽ばたいた「今」だから

FOCUSできること。

Pg 3

ライブラリーをもっと知ろう!

あなたの知らない

APUライブラリー術

Pg 5

興味深い講義を探そう!

ALRCSがおすすめの講義を紹介!

Pg 8

ALRCS イベント情報

知っておけば

おいてかれない!

Pg 9

APUライフは
これで変わる!

ALRCS

教授インタビュー

李 燕先生



李 燕先生のキャリア

所属	アジア太平洋学部教授
学位	工学博士、京都大学 理学修士、華東師範大学 理学学士、南京大学
研究領域	環境影響評価・環境政策、都市計 画・建築計画 交通工学・国土計画、社会シス テム工学・安全システム

ALRCS:ライブラリーに関して、先生が紹介したいことはありますか？

一番紹介したいことはデジタルのデータベースです。本や雑誌以外にライブラリーには電子ジャーナルがあります。私は、研究で使うのは勿論ですが、自分の研究分野以外で興味があるものもよく読んでいます。実は、APUには沢山の電子ジャーナルやデータベースがあるんですよ。これを学生の皆さんにもっと使って欲しいですね。特に、自身の研究やセミナーで活用して欲しいです。最近では、APUや他大学の学生の修士論文も読めるようになっていました。それらは全て無料で、私も普段から読んでいます。

ALRCS:先生がよく使うデータベースは具体的に何ですか？

特に使っているデータベースはEBSCO Host、Science Directです。中には、自分のメールアドレスを登録しておけば自分の興味のあるジャーナルのURLが届くというシステムもあり、活用しています。

ALRCS: ライブラリーに関して向上して欲しいことは何ですか？

専門書の本の置き方ですね。カリフォルニア大学で、実際に訪れた学科のライブラリーでは、各専門分野で特にお薦めの本を紹介していました。APUのライブラリーだけでなく、多くの図書館では、日本の本の分類法にしたがって本を並べていますが、専門分野別の推薦本のリストだけでも作成してくれれば、読みやすくなり、学びやすくなると思います。

ALRCS: 先生が学生に紹介したい本は何ですか？

私の考えでは、学生に専門分野の本よりはむしろ方法論に関する本を読んで欲しいです。例えば、研究の方法や卒論の書き方、調査の方法などが書かれた本です。今の社会では情報があふれていますよね。さらに本は自由に出版されています。全ての知識をつめこむことは不可能です。情報量の増加はとどまるところを知りません。その中で自分の必要な情報をいかに選ぶかが重要です。より賢い方法を使って情報を入手するようにして欲しいです。それには研究、調査の方法の本を読む。そして、実際の卒論の執筆等に活かして欲しいです。具体的には、Pamela L. Alreck, Robert B. Settleの著書で、“The Survey Research Handbook”という本です。これには調査の方法について誰にでもわかりやすく書かれています。皆さんもぜひこの本を読んで、本の内容を活かしながら調査し、研究して下さい。

ALRCS: 学生が学生を支援するという制度について、先生はどうお考えですか。

どんどん発展させるべきだと思います。なぜならそれは、教える側になることが、その人達にとって一番勉強になるからです。授業やゼミなどでプレゼンの授業がありますよね。あれは、人に教えるように見えますが、実は一番勉強しているのはプレゼンをしているその人自身なのです。ですから学びを教えるというプロセスは、実は自分自身を高める一番良い方法なのです。人に教えるということは、教える内容だけを知っているのでは到底足りません。10あればやっと1教えられるようなものです。結局教えるためにはそれよりもはるかに勉強しているということです。先生もそうです。例えば、1つのコースを教えなければいけないとします。それには、沢山勉強をして、その内容のほんの一部を話しています。90分話すためにはその何十倍も勉強しないとイケない。学生も勉強するためには他人に教えると良いと思います。

ALRCS: 先生が学生に伝えたいことはありますか？

ホームページにも書いてありますが、中国のことわざで「不変を以って万変に應ず」つまり、変わらないものを持って、変わる社会に應じるというものがあります。世界が変わって、私も変わる、ある知識が出てきたら私もその知識を身に付けようとするのでは、全てには対応することは出来ません。変わらない何かの武器を持っているという自信を養っていくのが大事です。大学というのは知識を積む場所というよりは、方法を学ぶ場所であるべきです。もちろん、勉強方法だけではなくて、態度や自信といった世の中で生きていく方法です。学生には、知識を学ぶ方法を通じて世界の変化に対応できるような力を大学で身に付けて欲しいです。

From APU to the 'Real World'

東南アジアで仕事をしたいと思っています。
今は新米SEとして技術を習得していますが、いずれは技術者として
東南アジアの発展に貢献したいと考えています。

—進藤 大周一



ALRCS: 今やっていることについて教えてください。

システムエンジニアをしています。

ALRCS: APUを卒業した後、あなたは何か変わったと思いますか？

朝起きることが出来るようになりました(笑)!誰かのためにという気持ちで仕事をしていると自然と朝が辛くなくなり、日々の生活にもメリハリができます。

ALRCS: 卒業する前に今の学部生が何をやるべきだと思いますか。

APUで経験したすべてのことは宝です。卒業してからも帰る場所や会いたいと思える人がいると、帰ってきたときの楽しみも倍増です。とにかく、後悔のないように。やるかやらないかで迷ったときは、まず体を動かしてみるのも手です。

ALRCS: 将来的に何をしたい、もしくは何を達成したいですか？

東南アジアで仕事をしたいと思っています。

今は新米SEとして技術を習得していますが、いずれは技術者として東南アジアの発展に貢献したいと考えています。

ALRCS: 最後に、APUの後輩達へメッセージはありますか？

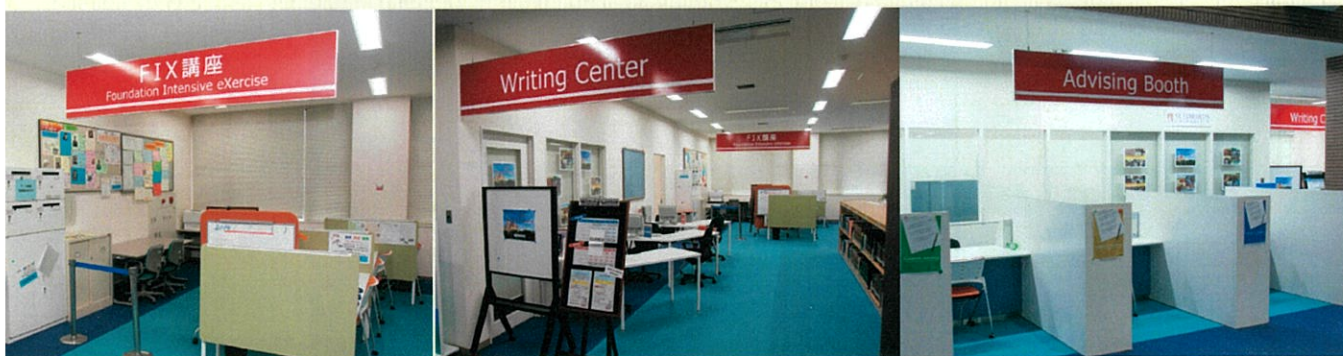
大学生活は人生において本当に大切な時間です。大学では社会の不思議、矛盾、理不尽に正面から考える時間があります。そしてそういった問題をともに考える仲間も。考えた後は行動に移す時間もあります。留学をしたり旅行をしたり、体を動かすと、想像も付かないような経験ができることが多くあります。時間という有限の資源を最大限に活用して楽しく実りのあるAPULIFEを送ってください。





Pangaea 3

皆さんが利用しているAPUライブラリーには
たくさんのリソースが隠されています。
今回は皆さんにもっとAPUライブラリーを
活用してもらおうと、なかなか知られていない
APUライブラリーの活用術をご紹介します。



FIX 講座

FIXとは“Foundation Intensive eXercise”のことで、公文式教材を用いて大学での学修を進める上で必要となる基礎力の育成を狙いとしている有料講座のことです。FIX講座は毎セメスター受講生を募集しており、2015春セメスターで11回目、丁度5年半を迎えます。講座を通して基礎力を高めることで、APUでのアカデミックライフの向上を目指せます。

講座開催日：毎週4日間(月・火・木・金) 18:00~20:00

※受講生の都合に合わせて何時でも学習できるようにしています。

開講教科

英語・国語・数学

※基礎的な中学生レベルから大学レベルまで各5000枚以上の公文式教材が準備されています

受講者の声は「計算が速くなった。」「数ⅡBまで解けるようになった。」「読解力が付き、レポートも書きやすくなった。」「英文法が整理でき、英語開講も分かり易くなった。」等々聞いています。一日30分前後の学習を続けることで集中力や学習継続力も徐々に身に付いています。沢山の方に受講して欲しいと思っています。また、講座内はサポーター(TA)が継続学習の支援を行っています。

末宗良一先生
FIX 講座担当



Writing Center

Writing Centerでは、レポートに関して学部生のチューターと1対1の個別指導を受けることができます。日本語開講の授業のレポートは国内学生のチューターに、英語開講の授業のレポートは国際学生のチューターに見てもらうことができます。なお、1セッションは40分間です。

○セッションまでの流れについて○

1.まずは、ライティングセンターで予約をしてください。

ライティングブースにある予約表で予約を受け付けます。

※予約が入っていない場合でも担当者がライティングブースにて待機しています。急な場合は直接ブースへ行って担当者に相談してください。

2.セッションには、授業で出された課題などを必ず持ってきてください。

3.セッションの始めに、チューターとセッションの目標を設定します。

→セッションスタート!

ライティングセンターの掲げる私たちの目標は “To produce better writers, not better writing” です。そのため、私たちは「自立的な書き手」の育成を目指します。ライティングセンターで行われるセッションは単にチューターがミスを指摘して学生に修正させるものではありません。チューターと学生との双方向のやりとりを通してゴールを目指します。

Kyay Mon
Writing Center Tutor



Advising Booth

みなさんが学問的・個人的な目的を見つけ、それを達成することをサポートする「アカデミック・アドバイジング」を実施しています。アカデミック・アドバイジングでは、教職員との面談などを通して、みなさんが以下の事項を達成できるように支援を行っています。

- APUの持つ多文化学習環境を自覚し、それを最大限に活用できるようになること
- 大学生活へのスムーズな移行ができること
- 自分の学修計画を立てることができること
- 自分で責任を持ち、計画にそって学修ができること

利用方法:

利用には事前に予約が必要です。アカデミック・オフィス窓口に来るか、メールに①氏名②ID③希望日時④相談内容を記載してadvising@apu.ac.jpまで送信して下さい。

何を学びたいのか、何を研究したいのかが分からなくなってしまうことはありませんか？モチベーションが上がらなかつたり、時間管理がうまくいかなかつたり等々、大学生活を送る上で困ったことはありませんか？APUのアカデミック・アドバイジングは、そのような悩みを抱える皆さんからの相談を受け付けています。ぜひ活用して下さい。なお、アドバイジングを受けるためには、アカデミック・オフィスでの予約が必要です。

履修単位に関する相談は、アカデミック・オフィスで受け付けています。また、レポートや論文の書き方について困ったことがあれば、ライティングセンターをご利用下さい。

HICKS, Joseph 教授
教育開発学修支援センター長



みなさんも是非APUライブラリーの各コーナーを活用し、より活発なセルフラーニングを広げていきましょう。

ALRCSイベント報告

ALRCSでは、皆さんのセルフラーニングを向上させるために、随時イベントを行っています。その中から今回は、先日行われた“Prezi Session”と“Word Press”についてお伝えします。

Preziとは



Prezi

皆さんはPreziを使ったことはありますか。Preziとは、プレゼンテーションソフトウェアの一種です。ウェブ上からアクセスでき、パソコンさえあればどこでもプレゼンを作ることが出来ます。特に注目したいのが、普通のプレゼンテーションとは違い、ストーリーを追うようなプレゼンテーションが出来るという点です。「これって難しくないのですか?」と思ったあなた、ALRCSブースに来てガイダンスの情報を得て下さい。

ーガイダンス概要ー

2015年春セメスターは6月17日(水)と6月24日(水)に英語と日本語によるガイダンスをそれぞれ1回ずつ行いました。そこでは、ALRCSメンバーによるPreziの紹介の後、実際にアカウント作成から、Preziの製作までを行いました。

WordPressとは

皆さんはWordPressをご存知ですか。WordPressとは、オープンソースのブログ/CMSプラットフォームのことで、セマンティック、Web、コードやデザインの美しさ、Web標準、ユーザビリティなどを意識して開発されており、無料でダウンロードして使うことができます。「思い通りにカスタマイズしたサイトを作りたい!」と思ったあなた、ALRCSブースに一度来てみて下さい。

ーガイダンス概要ー

7月22日(水)にガイダンスを行いました。そこでは、WordPressの概要説明から始まり、基本的な操作方法からクオリティ向上を目指す使い方までALRCSメンバーによる説明と実践的な操作を行いました。



GIS 入門

MBEREGO Seth 先生が担当する講義です。

GISとは何ですか？

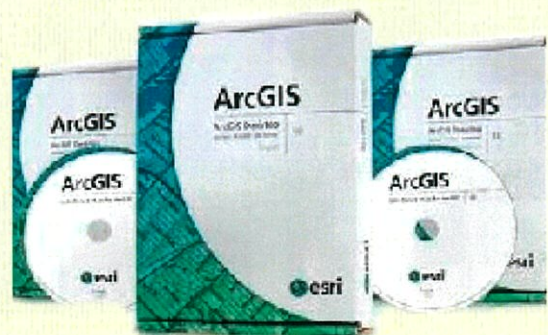
GIS(Geographic Information System) とは、情報を捉え、蓄え、操り、分析し、管理する、そして地球の表面の地理学上のデータを表示するシステムです。GISを使うことで、地球の構成要素と関連する諸問題との関係性—例えば、人口の大きな地域と様々な伝染病が広がっている特殊な地域との関係性等—を理解することができます。

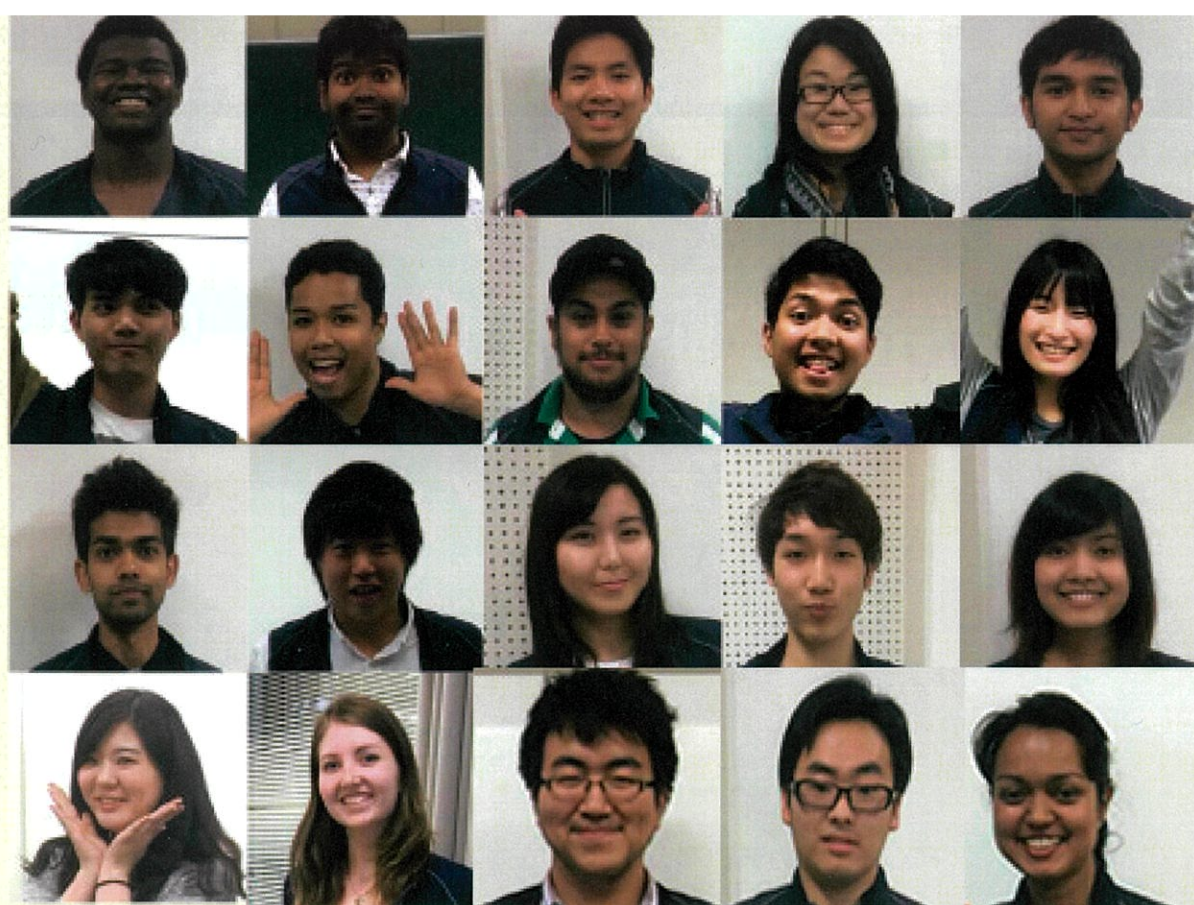
GISを使って私達にできることは何ですか？

授業の中では、ArcGISと呼ばれる特殊なソフトを使います。このソフトを使うことで、2つのデータの相関性に関するデータマップを作る事ができます。また、図の中のデータを1つの点のデータに変換し、それを他のデータと繋げることもできます。結果として、全ての繋がられたデータは私達の持つデータによる関係を描くことができるでしょう。更に、私達はいくつかの他の問題の関係性を確定するためにその地図を簡単に修正することもできます。つまり、GISの技術で分析できない情報の限界はありません。

GISの技術のユーザーは誰ですか？

このハイテク時代にGISの技術は、多くの人々が働く様々な分野の意志決定にや役立っています。例えば、警察ではある地域での犯罪のデータの変化を測定するためにGISの技術を使っています。そうすることで、より効果的に警察官を割り当てることが出来ます。GISはさらに、人口と比較してどのくらいの医者がその地域に必要なかを測定するためにも使われます。そうすることで、人口が多いのにも関わらず医者が少ない地域に、医療機関をより集中させることが出来ます。ビジネスマンも新しいお店を開くために最も良い場所を確定するためにGISを使っています。科学者は資源の有用性と人口の成長比率を比較するためにGISを使っています。私達が働きたいと考える分野は様々ですが、GISの技術を学ぶことは、それらのいかなる分野においても役に立つことでしょう。『GIS入門』は、入門編ではありますが、地理学に興味のある学生にとってはArcGISのようなより進んだ技術を使うことで、より多くの知識を得ることができるでしょう。





ALRCS

Academic Learning Resource Core Staff

アカデミック・オフィスの下で学生の支援組織です。
この組織を通じ、我々は助け、よりよい環境と学生の大学の生活を作成するために学生を支援することができることを願っています。





Academic
Learning Resource
Core Staff

“FOCUS”はアカデミックラーニングを向上させることを目的に
ALRCSのD-Teamが制作したニュースレターです。



ALRCS はFacebookページで、ALRCSが主催するイベントの最新情報やコンピュータに関するTipsなどの情報を発信しています。皆様からの「いいね」をお待ちしています。

ご意見・ご感想
をお聞かせください

発行: 立命館アジア太平洋大学
アカデミック・オフィス ALRCS D- team
alrcsdteam@gmail.com
ライブラリ1階Helpdesk (10:35 - 17:40)

FOCUS 2015 秋第001号2015年10月1日 発行

立命館アジア太平洋大学 〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1